

大野市総合計画・総合戦略推進会議 第3回移住定住部会 議事メモ

日時 令和4年10月4日（火）午後1時30分～午後3時15分

場所 結とぴあ 201・202号室

1 開会

事務局から開会

2 協議事項

（1）報告書（案）について

事務局より説明

（2）意見交換

①移住の関心を高める情報発信について

<意見>

- ・ 主要都市（福井市）との距離や所用時間を情報発信すると、暮らしのイメージがしやすい。
- ・ 印刷物（パンフレットやポスター）を都市圏に掲示してはどうか。
- ・ 地縁者やゆかりのある人（大野会）などからのPRを促してはどうか。
- ・ 大野会の方から、その子どもや近所に住んでいる人、会社関係者などに大野のことをPRしてもらおうと良い。
- ・ 東京912（東京都在住の大野市出身者でつくる郷土会）や関西の大学生グループに情報発信を協力してもらおう。
- ・ 動画の「オオノグラシ film」を有効活用する。ホームページに掲載してあるだけではなかなか見ない。SNSで発信すると良い。
- ・ 市公式ラインにチャットボットに入れるのではなく、移住者が見るサイトにチャットボットを組み込んではどうか。（市公式ラインは市に関心のある方しか登録しないのでハードルが高い）
- ・ 建設業が盛んといったようなリアルな魅力の情報発信があると良い。
- ・ まんまるサイトのウェブサイトには平成29年当時の各地区の情報があるので、移住のトリセツに活用できると良い。

②リピート、ロングステイにつなげる方策

<意見>

- ・ 項目立ては「テーマ別観光の推進」「観光以外の資源の活用」の2本で構成する。（事務局より）

⇒ 2本を明確に分けるのではなく、相互に連携させるというニュアンスで書いた方が良い。

- ・ 名水マラソンなどのスポーツ大会は当日だけでなく、練習の時でも観光を提供できる仕掛けがあると良い。例えば、銭湯の提供など。
- ・ ワークेशनについて、目的（会議だけ、食事付き、宿泊付き）ごとに対象施設を打ち出せると良い。
- ・ まちなかの小スペースにでも Wi-Fi 環境があると仕事・趣味の両立が可能となる。
- ・ ロングステイを目的に、宿泊施設にワークেশionsスペース創設に対する支援があると良い。
- ・ ワークেশionsスペースを創るのではなく、ポケット Wi-Fi の貸し出しを行うだけでも良い。

③移住者の生活環境を向上させる方策

<意見>

- ・ 下麻生嶋地区において平成 30 年度以降に移住者との交流会を行っているので、「平成 30 年度以降の八町区を最後に実績がない」は誤り。
- ・ コミュニティビジネスの例示があった方がイメージをしやすい。（例えば、有害鳥獣のジビエ活用など）
- ・ コミュニティビジネスは、大野市のような小さな町では行政の支援がないと中々成り立たない。
- ・ 社会課題解決のビジネス化という意味であれば、コミュニティビジネスではなくソーシャルビジネスという言葉を使ってはどうか。
- ・ 「若者がチャレンジできる仕事づくり」と項目立てるのであれば、若者への起業支援を強化するということを入れると良い。現行の市街地に限定した店舗形成支援は使いづらい。移住者だけでなく市民への起業支援の強化が必要。
- ・ 大野市の移住者でも勤め先は市外の方もいる。市内に勤めてもらえるような仕組み支援、市外に勤めるにあたっても市内に定住してもらえるような仕組み支援の検討が必要。
- ・ まんまるサイトが十分に知られていないので PR が必要。

3 その他

事務局から事務連絡

○第 3 回大野市総合計画・総合戦略推進会議

11月7日（月）午前10時～・結とぴあ（305・306号室）

4 閉会

事務局より閉会